



## 東京駅にて「プラズマチューブアレイ」放映実証実験を行います！！

- (株)ジェイアル東日本企画と篠田プラズマ(株)は、駅構内における大型デジタルサイネージの可能性を検証するため、東京駅構内にて「プラズマチューブアレイ／開発：篠田プラズマ(株)」の実証実験を行います。
- 「プラズマチューブアレイ」は省エネルギー・大型かつ超薄型のフィルム状ディスプレイで、本実験ではプラズマチューブアレイに様々なコンテンツを表示・放映し、デジタルサイネージ表示素材としての可能性・課題等を検証します。
- 実験期間は9月2日(水)～9月4日(金)の3日間、「プラズマチューブアレイ」のパブリックスペースでの展開は今回が初めてとなります。

### ■実験概要

- 1. 期間 2009年9月2日(水)～4日(金) 11:00～19:00 ※最終日は17:00まで
- 2. 展開場所 東京駅丸の内地下中央改札口脇・臨時イベントスペース
- 3. 実験主体 (株)ジェイアル東日本企画、篠田プラズマ(株)
- 4. 実験協力 JR東日本、富士通(株)、富士通フロンテック(株)
- 5. 展開内容 イベントスペース内に「プラズマチューブアレイ」を設置し、静止画・動画・WEB画面等、様々なコンテンツ表示を行います。
- 6. コンテンツ JR東日本の情報や実験用サンプル画面、WEB画面等を準備し、各コンテンツを一定間隔で切り替え放映します。
- 7. 検証テーマ
  - 1) プラズマチューブアレイの駅構内における価値検証(輝度・表示精度)
  - 2) 設置・撤去の難易度検証
  - 3) 大型ディスプレイに適したコンテンツの検証
  - 4) その他広告媒体としての課題抽出 等

### ■プラズマチューブアレイ概要

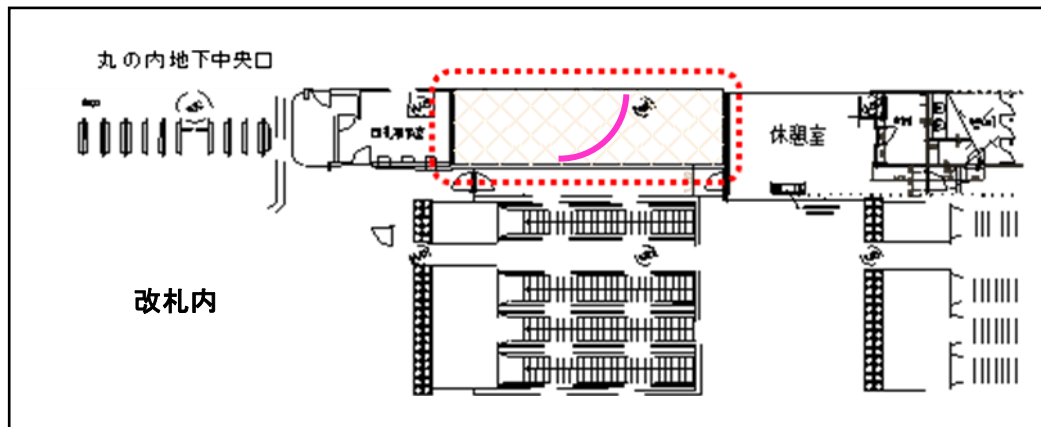
「プラズマチューブアレイ」とは、以下の特徴をもった環境対応の超大画面フィルムディスプレイです。

- ・「超薄型」：表示フィルムの薄さ1mm
- ・「超軽量」：従来のフラットパネルディスプレイの10分の1の軽さ
- ・「曲面表示」：曲面や円筒形の壁面にも設置可能
- ・「省エネルギー」：消費電力は従来の大型ディスプレイの半分以下
- ・「拡張性」：1m×1mのモジュールをつないで大画面に拡張可能

<展示品仕様>

- ・画面サイズ：3m×2m(R=3m 曲面)／表示フィルム重量7.2kg、セット重量約180Kg／消費電力：1,000W(表示部最大電力)

■設置スペース【東京駅丸の内地下中央口脇・臨時イベントスペース】



■設置イメージ

